安全データシート(SDS)

作成 2009年2月10日 改訂 2019年5月16日(第5版)

1. 製品及び会社情報

製品名: L-Glutamic Acid (製品コード 2708)

製造者:株式会社ペプチド研究所

住所: 大阪府茨木市彩都あさぎ7丁目2番9号

電話番号: 072-643-4411 FAX 番号: 072-643-4422

2. 危険有害性の要約

GHS 分類:

健康に対する有害性

急性毒性(経口)区分外

その他の危険有害性:データなし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別:単一製品

化学名: L-Glutamic Acid

化学式、分子量: C₅H₉NO₄ (M.W. 147.13)

官報公示整理番号

化審法: (9)-1573

安衛法:-

CAS Registry Number: 56-86-0

EINECS No.: 200-293-7

TSCA 登録: 有り

国連番号及び国連分類:危険物に該当しない

4. 応急措置

吸入した場合:

空気の新鮮な場所に移し安静にする。清浄な水で口内と鼻腔を充分に洗浄し、医師の処置を 受ける。

皮膚に付着した場合:

触れた部位を多量の水で洗い流す。必要であれば医師の手当てを受ける。

眼に入った場合:

直ちに流水で15分以上洗眼する。必要であれば医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合:

清浄な水で口の中を洗浄し、必要に応じ医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤:水スプレー、二酸化炭素、粉末消化剤など

特有の消火方法:通常の火災時の消火方法に準ずる。

消火を行う者の保護:消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

直接人体に触れないように防塵マスク、保護メガネ、保護手袋、保護衣を必要に応じて着用する。

環境に対する注意事項:

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材:

漏出したものをすくいとり、又は掃き集めて紙袋又はドラム等に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い:直接人体に触れないようにする。

保管:密封して直射日光を避け冷所に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策:特に必要としない。

許容濃度:データなし

保護具:防塵マスク、保護メガネ、保護手袋、保護衣を必要に応じて着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観等:白色の結晶又は、白色の結晶性粉末

溶解性: 0.1 mol/L 塩酸に可溶 比旋光度: [α]_ρ +31.5°~+32.4°

10. 安定性及び反応性

安定性:データなし

反応性:データなし

11. 有害性情報

急性毒性:LD₅₀(経口、ラット) > 30 g/kg (RTECS)

皮膚腐食性及び皮膚刺激性:データなし

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:データなし

呼吸器感作性又は皮膚感作性:データなし

生殖細胞変異原性:データなし

発がん性:データなし

生殖毒性:データなし

特定標的臓器毒性(単回ばく露):データなし

特定標的臓器毒性(反復ばく露):データなし

吸引性呼吸器有害性:データなし

12. 環境影響情報

生態毒性:データなし

残留性・分解性:データなし

生体蓄積性:データなし

土壌中の移動性:データなし

13. 廃棄上の注意

適用される条例、政令等に従う。

14. 輸送上の注意

国連番号及び国連分類:危険物に該当しない。

冷蔵輸送が望ましい。

容器の破損、漏れがないことを確かめ、衝撃、転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩 れ防止を確実に行う。

取扱い及び保管上の注意事項の記載にも注意する。

15. 適用法令

該当なし

16. その他の情報

引用・参考文献

- 1. GHS 対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針 2012 年 6 月 (一般社団法人 日本化学工業協会)
- 2. JIS Z 7253 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル,作業場内の表示及び安全データシート(SDS)(一般財団法人 日本規格協会)
- 3. 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE) のウェブサイト
- 4. 16112 の化学商品(化学工業日報社)

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合は用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供であって保証するものではありません。